



あそぶ・まなぶ・語る



周防大島町社会教育施設連携協議会 〒742-2512 山口県大島郡周防大島町平野 417-11 宮本常一記念館内 TEL (0820) 78-2514

久賀小学校で

脱穀・選別体験

11月15日、久賀小学校の3年生を対象に、八幡生涯学習のむらに所蔵する足踏式脱穀機・千歯こき・唐箕などを使い脱穀・選別の体験を行いました。周防大島でもミカンが特産品になる前は米作りが主で、これら農具は減反や転作で使われなくなった昭和40年代の後半に集められたものです。



まず米作りの一年の流れや、道具の変化など、先人の工夫によってだんだん機械化され、便利になっていったことを説明して体験に移りました。脱穀機はリズムよく踏まないとうまく回りません。稲束を脱穀機の胴に

当てるのにもコツがいります。

米の字を分解した88の行程があると言われるように米作りには沢山の行程があります。今回の体験は脱穀と選別の作業のみでしたが、古い農具を使うことで、米作りにどのような行程があり、どのようにして自分たちの食卓にのぼっているのかを知る体験になったようでした。



企画展示

塩と日本人

宮本常一記念館

現在、当記念館では、宮本常一が全国で収集した塩業に関する資料や著作などを紹介する企画展示を開催しています。また小松塩田の写真や枝条架装置の模型なども展示しています。

我々の暮らしにとって欠かせない「塩」を通じて、宮本常一の地域へまなざしや、ふるさとの暮らしを支えてきた塩田の歴史にふれてみてはいかがでしょうか。

会期：平成29年1月31日迄
ギャラリートーク：1月8日（日）14時～15時
入館料：大人300円／子供150円
休館日：毎週水曜日／12月28日～1月3日
問い合わせ：0820・78・2514



文化の伝承

企画にあわせた文化講演会



講師の 田中正三氏

八幡生涯学習のむらでは、さまざまな企画にあわせて講演会を開催しています。この秋には、9月24日（土）に吉田真夫さん（山口県文書館）を招き、年間を通じて開催している古文書講座に関連して、「山口県文書館の古文書を知る」大坂の陣関係史料を中心に」と題する講演をしていただきました。また10月16日は隅田正三さん（西中国山地民具を守る会）に、現在開催中の鍛冶屋道具に関する企画展にあわせた講演会「鍛冶屋用具の収集と活用について考える」を開催しました。

どちらの講演も所蔵資料をどう活用するかが大きなテーマでした。古文書も書き下しと解説を付けることで、ぐっと身近なものとして感じることが出来ます。民具は使っている様子を写真で紹介することで用途が分かりますし、さらに使い方を再現すれば、モノに秘められた工夫

を感じることが出来ます。また利用者が資料にアクセスしやすいようにして公開することも大切です。資料の収集だけで満足することなく、利用のしやすいように工夫することが重要になってきていると改めて感じる講演会でした。地域に残る資料を住民のみなさんと一緒になって整備し、次世代へ受け継いでいければと思います。

一通のメールから始まった

E-mail



日移 本民 ワイ 館

それは、北海道に住む方からの「ハワイかアメリカへ行った先祖」がいつ頃、どこへ行ったかを調べたいとの問い合わせであった。先祖は岩国出身で、ハワイに行った話は聞いたことがある。ハワイ移民資料館の存在を知りメールしたこと等がしたためられてあった。

早速、官約移民データ（明治18年～27年）で検索してみると見当たらず。次は、新しく入った渡航記録データ（明治27年～40年）、ハワイ年鑑（昭和2年～16年）類で探し、関係あるかもしれない情報にいくつか当たることができ、依頼主に調査結果を知らせた。そうすると生まれた年から資料を特定することが出来たとの連絡が入った。

この10月、岩国へ墓参りに帰省し、資料館にも立ち寄られた。曾祖父の生き様を詳しく知ることが出来たと話された。その方の先祖を誇りに思う気持ち、しっかりと伝わり、資料館としてお手伝いできたことを嬉しく思った。



学歩
民教

宮本常一の
歩いた久賀2



生涯
学習の
むら

この講座は宮本常一が残した写真を手がかりに、景観の変化や歴史を学ぶ企画として実施しました。宮本常一は久賀町誌編纂委員となつて調査をはじめて以降、久賀地域の至る所でその足跡を残しています。10月29日、今回は主に久賀港周辺から弁天までを歩きました。宮本写真は、現在ではうかがうことのできない光景もあり、貴重な写真といえます。

道中、現在進行形で久賀港が埋め立てられている場所もあり、景観が今この時も変わろうとしています。当時の風景を記憶しておられる参加者も多く、宮本常一の写真と比較し、思い出話などで盛り上がる場面もありました。



呉の社会教育施設で研修



10月3日、当協議会では社会教育施設の有効な活用を学ぶため、呉市の入船山記念館、大和ミュージアム、蒲刈県民の浜をめぐる研修会を開催しました。いずれの施設でも職員の方に丁寧な説明をしていただき、施設の有効な活用、また市民や観光客へのPR、展示の工夫などを学びました。研修で得た知見を今後の活動に生かしていきたいと思ひます。

イベントひろば

周防大島町陸上競技場・総合体育館

▼第3回ササノセト・大島/周防大島町長杯 高校サッカーフェスティバルが開催

全国高校サッカー選手権大会の開催期間中であり、全国的にサッカーに対する興味・関心が高まっている中で、山口県内、近隣県から全国大会常連校など強豪チームを招聘し、本町の子供たちの競技力の向上をめざして、開催します。



【日程】平成29年1月7日(土)8日(日)9日(祝)
【会場】周防大島町陸上競技場・長浦スポーツ海浜スクエア・大島商船高等専門学校
【参加校】決定後HPにて公開
※(昨年度参加校)九州国際大学付属(福岡)、瀬戸内(広島)、玉野光南(岡山)、大社(島根)、創成館(長崎)、松山工業(愛媛)、柳ヶ浦(大分)、出雲商業(島根)、聖光(山口)、下松工業(山口)、大島商船(山口)
・観戦無料
【問い合わせ】0820・78・2512

▼好評！季節のヨガ教室「冬クラス」の募集を開始
季節に適応する心とカラダづくりを目指しましょう。本格的にやってみよう方は

もちろん、身体の固い方や初心者の方から楽しんで頂ける内容です。ぜひご参加ください。

【講師】三浦さおり(日本ヨガ禅道友会所属)
【場所】周防大島町総合体育館アリーナ
【定員】30名(先着順)
【参加料】1期7回分 4000円(初回時徴収いたします)
【持物】ヨガマット(またはバスタオル)、アイマスク
【日程】1月30日～3月13日までの毎週月曜日(全7回)
19時30分～20時45分
【申し込み】0820・78・2512
※この教室は1期7回を通して受講していただくことで「日頃のヨガ」となるようなプログラム作りをしております。皆様の参加をお待ちしております。

八幡生涯学習のむら

▼「あそぶ・まなぶ・語る」講座を開催
『ミシュラン・グリーンガイド・ジャポン』出版に関わられた講師をお招きし、外国人向け観光のカギになるものが何かをお話いただきます。
講師：森田哲史氏(ぐるなび顧問)
演題：「物語のある観光地の形成」
日時：平成29年1月12日(木)15時～16時30分
会場：八幡生涯学習のむら
定員：30名(多数の場合は先着順)
申し込み：宮本常一記念館
0820・78・2514
主催：周防大島町社会教育施設連携協議会

宮本常一記念館

▼新春・ダイカラ白を使った餅つき大会
親子参加も大歓迎、杵つき餅で新しい年を祝いましょう。石臼でひいた黄粉も大人気です。
【日時】平成29年1月9日(月・祝)10時～13時
【会場】宮本常一記念館
【参加費】無料
【問い合わせ】0820・78・2514

日本ハワイ移民資料館

▼ハワイの文化と歴史を学ぼう！
Aloha! 日本ハワイ移民資料館カルチュラルアドバイザーの西田純子です。移民資料館でレイ作りやハワイ語を学ぶ講座の講師をしております。その中で、ハワイについての歴史など質問の受けることがあります。周防大島から多くの人が渡った「ハワイ」・・・その歴史と文化についての講座を開きます。今後、ゲストも交え、移民の歴史に至るまで定期的な開催もできたらと考えております。まずは、今回「ハワイの島々の成り立ちと古代の文化」についてお話しします。是非ご参加を。
日時：平成29年1月15日(日)13時～
場所：日本ハワイ移民資料館
テーマ：ハワイの島々の成り立ちと古代の文化
参加費：大人800円/小中学生600円(入館料含無む) 小学校高学年以上対象
主催/申し込み：日本ハワイ移民資料館
0820・74・4082